

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「なんや、また気が重そうな顔して。」

「朝食にみそ汁やら焼き鮭やらを並べながらばあちゃんが言った。『胃が痛いんだ。』とおなかを押さえて答える僕に、『そこ、胃じゃなくて腸や。』とばあちゃんが笑った。」

「小学校卒業と同時に、僕はばあちゃんの家に引っこしてきた。転勤が多い父さんは新しい住まいを探すのはもったいないと、ばあちゃんの家での同居となったのだ。父さんもパートで働く母さんも朝早くから仕事に出してしまうから、朝飯から夕方まではばあちゃんと二人だ。」

「転校なんて言ったら、慣れたもんやろ。それに今回は中学入学と同時になんやし、ちよちよいのちよいや。」

「中学入学って言ったって、慣れたもんやろ。それに今回は中学入学と同時になんやし、ちよちよいのちよいや。」

「そんなん言うたら、ばあちゃんなんかいな小学校からの仲間なんだ。①簡単にいくわけないだろ。」

「そんなん言うたら、ばあちゃんなんかいな小学校からの仲間なんだ。①簡単にいくわけないだろ。」

「そんなん言うたら、ばあちゃんなんかいな小学校からの仲間なんだ。①簡単にいくわけないだろ。」

「そんなん言うたら、ばあちゃんなんかいな小学校からの仲間なんだ。①簡単にいくわけないだろ。」

「そんなん言うたら、ばあちゃんなんかいな小学校からの仲間なんだ。①簡単にいくわけないだろ。」

「そんなん言うたら、ばあちゃんなんかいな小学校からの仲間なんだ。①簡単にいくわけないだろ。」

「そんなん言うたら、ばあちゃんなんかいな小学校からの仲間なんだ。①簡単にいくわけないだろ。」

「そんなん言うたら、ばあちゃんなんかいな小学校からの仲間なんだ。①簡単にいくわけないだろ。」

「そんなん言うたら、ばあちゃんなんかいな小学校からの仲間なんだ。①簡単にいくわけないだろ。」

「そんなん言うたら、ばあちゃんなんかいな小学校からの仲間なんだ。①簡単にいくわけないだろ。」

「別に行きたくないけど……」
「お菓子はあちやんがくれた小銭を手にしてつぶやいた。」

「駅前に新しく行こうや。」
「今日の放課後、何人かの男子で盛り上がっていた。」

「あつた。でも、声は出なかった。入学式から何度かのきつかけをやり過ごしていく中で、ハードルは高くなるばかりだ。」

「いつてらつしやい、気をつけてな。」

文化教室のあんは「大人は待つとつても何もやって来てくれんから、探さんとあかんわ。次は何しようかな。」と地域の

と眼鏡をかけたおじいさんがかすれた声で言うのに、「どうも。」と軽く頭を下げながら、お菓子を探す。この期にお

「ここにも売ってるんだ。」

子。父さんが好きだったせいで、僕は幼稚園のころから気に入って食べては、すっぱいのにと周りをおどろかせていた。

「お、俺もそれ買おうと思ってるん。」
「声が聞こえた。毎朝聞いてる声だ。振り返ると、川口君がいた。」

「と聞かされて、僕は「すっぱいけどね。」とうなずいた。」

「せやねん。すっぱいのに俺はじいちゃんが好き物やから、しょっちゅう食べてる。」

「僕も小さいころから食べてた。」

「そうん。そう。」
「教室の外で会ったって、相変わらず僕らの会話はたどたどしい。」

「僕がえつと、⑦明日の野外学習にこれ、持って行こうかな。」

「あ、俺も。おつた。そう。空気をふっ切るように、お菓子をかごに入れると、

と川口君も手に取った。梅干し食べるとええって言うし。」
僕が手に提げた小さなふくろの中にはあまづっぱい梅干しがちゃんと入っている。

問一——線①「簡単にいくわけないだろ」とあるが、何が簡単にいくわけないのか。適切なものを次から一つ選び、記号で

答えなさい。

ア ばあちゃんの家での生活習慣に慣れること。

イ 小学校からの仲間とずっと友達でいること。

ウ 入学した中学での授業についていくこと。

エ 入学した中学でのクラスの仲間になじむこと。

問二―線②「ぼそぼそ食べてん」のように、ばあちゃんの目から見て僕の気持ちがしずんでいることがわかる言葉を【1】の場面から七字で抜き出しなさい。

問三―線③「窓の外を見つめる」とあるが、このときの僕の気持ちはどのようなものか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 川口君と会話がうまくいかずいらしている。
イ 川口君の話を上手に返せず落ち込んでいる。
ウ 川口君との話が退屈で面倒臭くなっている。
エ 川口君との会話が途切れて気まずく思っている。

問四【2】の場面で僕が自分の行動を悔やみ、気持ちがしずんでいることがわかる様子を九字で抜き出しなさい。

問五【2】の場面で擬人法が使われている部分を二十字以内で抜き出し、その初めと終わりの三字を書きなさい。

問六―線④「厄介だ」と同じ意味ではない言葉を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 面倒である
イ 不安である
ウ 手間である
エ 迷惑である
オ 困難である

問七―線⑤「わずかなとっかかり」とは僕にとってどういうことか。十字以上十五字以内でわかりやすく説明しなさい。

問八―線⑥「『僕も行こうかな。』……でも、声は出なかった」とあるが、このような状況の中で、「僕」が追いつめられていることが読み取れる言葉を、文章中から十二字で抜き出しなさい。

問九―線⑦「明日の野外学習にこれ、持って行こうかな」とあるが、僕がそう言ったのはなぜか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 周りの人たちの目を気にせず、自分の気持ちに素直になろうと思ったから。
イ クラスの友達と仲良くなりたいため、梅干しを分けてあげようと思ったから。
ウ 自分から勇気をふりしぼって、今までとは違う行動をとろうと思ったから。
エ 会話がとどこおりそうなので、梅干しの話で間をもたせようと思ったから。

問十 この文章で「花曇り」という言葉は「僕」のどのような様子をたとえているか、「友達」という言葉を使って、十字以上二十字以内で書きなさい。

いろいろと調べてみると、これまで気づかなかった野菜の新しい魅力が見えてくるかもしれません。

問

問
二
B

工

さい
い。

この二つの器官は、じつは味もちがっています。なぜ、ちがっているのでしょうか。

問四―線①「栄養分」とあるが、それは何のために必要なのか。「うため」に続くように文章中から五字以内で抜き出さない。

問五―線②「ダイコンは下にいくほど辛みが増していきます」とあるが、それはなぜか。十一字で抜き出さない。

問六　ダイコンが生きたための工夫を簡潔に表現した言葉を五字以内で抜き出さない。

問七―線③「これらの特徴」とあるがどのような特徴か。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　ダイコンの下の部分の細胞は破壊されると辛くなるが、下の根の側根だけは糖分などの栄養分があるので甘くなる。
イ　ダイコンの下部分は主根が太ってできており味は辛いですが、上の部分は根から送られた水分があるので少しだけ辛い。
ウ　ダイコンの上の部分は水分が多く甘みもあるが、下の部分も葉からの糖分などが栄養分として送られてくるので甘い。
エ　ダイコンの上の部分は栄養分がふくまれるので甘く、下の部分は細胞が破壊されることでさらに辛くなる。

三 次の詩を読んで、後の問いに答えなさい。

あきのひ

のぎくみちこ

かぜが
とおりました
わたしは
はなびらを
ゆすりました
だれかに
よばれた
きがして
①ふりかえ
ると
しずむと
ころで
した

問一―線①「ふりかえると」とあるが、だれがふりかえったのか、抜き出さない。

問二―この詩に使われている表現技法と同じものが使われているのはどれか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　きれいだ、この花は。
イ　彼はふわりと跳んだ。
ウ　聞こえてくるのは鳥の声。
エ　菜の花や月は東に日は西に。
オ　吹つけ、吹く足音。
カ　こつこつと足音がする。

問三 この詩の「のぎくみちこ」の様子はどのようなものか、適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 秋の日の夕暮れに何かしら人恋しさやさびしさを感じている。
イ 秋の日の夕暮れにだれかによばれた気がしてこわがっている。
ウ 秋の日にだんだん暗くなっていく夕焼け空を美しく感じている。
エ 秋の日に夕日があるくるとしむ様子を楽しそうに見ている。

四 次の―線部の漢字の読みをひらがなで、かなは漢字で書きなさい。ただし、送りがなの必要なものはひらがなで正しく書くこと。(楷書でていねいに書くこと。)

- (1) 雑踏の中を歩く。
- (2) 曖昧な態度を示す。
- (3) 高々と掲げる。
- (4) 美しさに驚嘆する。
- (5) 催し物を案内する。
- (6) 空にたこがある。
- (7) 将来の夢をえがく。
- (8) 手をにぎる。
- (9) 引退をかんこくする。
- (10) 不正をてきはつする。

五

次の詩と下の会話を読んで、後の問いに答えなさい。

おれはかまきり
かまきりりゆうじ

おう なつだぜ
おれは げんきだぜ
あまの ちかよるな
おれの ころも かまも
どきどきするほど
ひかつてるぜ
おう あついで
おれは はんばるぜ
もえる ひをかびる
かまを ふりかざす
わくわくするほど
きまつてるぜ
すがた

○この詩は次のようなことを表現していると野原さんと工藤くんは考えました。

野原さん

この詩はきつと

A かまきりが強く自分をアピールする姿。
B 困難をものともせず、前向きにのぞむ様子を表していると思うわ。

工藤くん

いや、僕は

A かまきりが強く自分をアピールする姿。
はわかるけれど、Bはちよつと意見が違ふよ。
B 自分の得意な夏が来て、前向きにのぞむ様子を表していると思うな。

先生

それでは野原さん、工藤くん、自分の意見について根拠（理由）をあげて説明してくれるかな。

問い

野原さんと工藤くんのどちらかの立場になって、A Bの内容について根拠（理由）をそれぞれ一つ以上あげて、文章にまとめなさい。

ただし、「野原さん（または工藤くん）の考えのAについて」という書き出しで始め、書き終わりが「……表現している。」で終わること。

また、次の点に気をつけること。

- ① 誤字、脱字、書き出し、書き終わり、文体の統一に気を付けていること。
- ② A B二点に触れて、詩の中から、理由が正しくそれぞれ一つ以上書かれていること。
- ③ 筋道が通っていること。解答が五行以上であること（一行二十五字以上）

[illegible]

